

(3) 防災訓練について

【1】令和5年度 土砂災害に強い地域づくり活動の結果報告

日 時

令和5年6月11日(日) 9:30~11:30

開催地区

栗栖地区

参加人数

90名

参加者 60名(入鹿地区住民)

協力団体 2名(一宮建設事務所維持管理課)

観覧者 18名(市議会議員、県議会議員、あいち防災リーダー会犬山)

市役所 10名

※メディア(テレビ愛知、名古屋テレビ、NHK、中日新聞)

成 果

今回の訓練では、住民一人ひとりが自分の状況に合わせたハザードマップの作成に取り組んだ。

同じ地区内であっても、住んでいる場所や世帯状況によって避難のタイミングや逃げ先が変わってくるため、各々の「マイ・ハザードマップ」を完成させることで、有事の際の的確な避難行動に繋がるとともに、防災意識の向上を図ることができた。



【2】土砂災害に強い地域づくり活動の計画案について

日 時

令和6年6月中

対象地区

今井地区

訓練内容

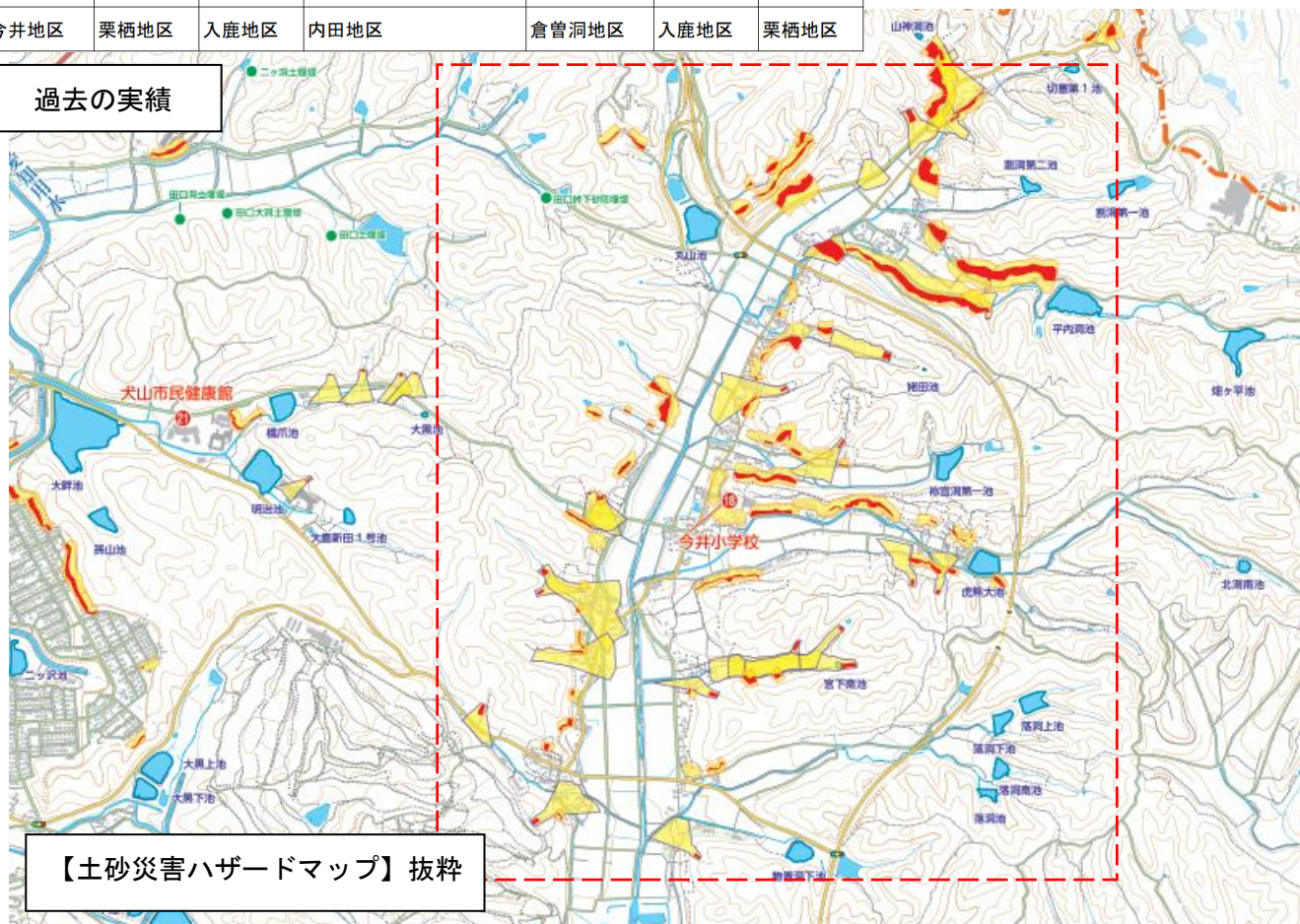
土砂災害による緊急避難を想定した避難訓練

方針・概要

今井地区においては、地区全域が山に囲まれており、土砂災害の危険のある区域が多いことから、災害時には孤立する可能性があるため、今回の訓練では対象地区住民一人ひとりの避難先及び避難方法を再確認し、緊急時の「いのちを守る行動」につながる適切な避難行動の普及啓発を行うことを目的とする。

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 (総合訓練同時開催)	R1年度	R4年度	R5年度
今井地区	栗栖地区	入鹿地区	内田地区	倉曾洞地区	入鹿地区	栗栖地区

過去の実績



【土砂災害ハザードマップ】抜粋

【3】令和5年度犬山市総合防災訓練の結果報告

日 時

令和5年9月10日（日） 9:00～12:00

開催場所

城東中学校（塔野地字田口洞 39-101）

参加人数

1265名

参加者 1009名（城東小学校区住民）

協力団体 166名（ブース出展企業、城東小学校区コミュニティ推進協議会、消防団）

観覧者 19名

市役所 71名

成 果

城東小学校区コミュニティ推進協議会を対象に、事前訓練を3回実施したことにより、当日の避難所運営訓練や資機材の取扱い訓練をコミュニティ中心に行うことができた。これにより、コミュニティや参加住民に実災害時は自分たちが中心となって避難所運営を行うという認識の共有を図れた。



【4】令和6年度犬山市総合防災訓練の計画案について

日 時

令和6年11月10日（日） 午前中

開催場所

犬山西小学校（犬山市上坂町5丁目2）

対 象

- ・西小学校区住民

内 容（予定）

- ①自主防災組織の活性化
- ②避難所運営委員会の設置の足がかりとなる取り組み
- ③防災知識の啓発

※犬山西地区コミュニティ推進協議会を中心とした避難所運営訓練。

方針・目的

- 災害時におけるコミュニティ及び自主防災組織の役割を再確認することで、それぞれの組織の活性化を図る。
- 学校区を対象とした事業実施により地域を越えた防災活動の定着を目指す。
- 各企業・団体の協力による啓発ブースの出展で、防災に関する普及啓発を行う。

【5】令和5年度福祉避難所開設訓練（職員訓練）の結果報告

日 時

令和5年10月28日（土） 9:30～12:00

開催場所

養護老人ホームぬく森（羽黒安戸南一丁目55番地）

参加者

・ 市長	・ 防災交通課	5名	・ ともいき福祉会	6名
・ 副市長	・ 福祉課	5名	・ 施設利用者	3名
・ 防災監	・ 高齢者支援課	4名		
・ 健康福祉部長	・ 健康推進課	3名		
・ 子ども・子育て監	・ 保険年金課	2名		
				<u>計33名</u>

※メディア（NHK、中日新聞）

成 果

福祉避難所に関する訓練を初めて実施した。今回の訓練では、福祉避難所開設時の一連の業務を確認するとともに、問題点や課題を整理した。

災害対策本部内及び関係機関間の連携では、情報の整理や伝達方法の課題が明らかになった。ほかにも、避難者のトリアージや、福祉避難所で対応する人員の問題、必要な資機材などについても今後検討が必要である。



【6】令和6年度福祉避難所開設訓練（職員訓練）の計画案について

日 時

未定

開催場所

子ども未来園で実施予定

対 象

市職員（災害対策本部：本部班、福祉班、衛生班、教育班）

内 容（予定）

妊産婦や乳幼児を対象とした福祉避難所の開設の手順を確認し、避難所の開設や避難スペースの設営等の福祉避難所の開設に関する一連の業務を実施する。

方針・目的

福祉避難所における避難所開設時の一連の業務を確認するとともに、問題点や課題を整理する。

【7】ペット同室避難 避難所開設訓練の結果報告

日 時

令和6年1月22日（月） 午後2:00～午後4:00

開催場所

市民交流センター フロイデ（犬山市松本町四丁目21番地）

参加人数

30名

協力団体 14名（犬山動物総合医療センター、あいち防災リーダー会犬山、
城東小学校区コミュニティ推進協議会）

※犬6匹、猫1匹、モルモット1匹

市役所 16名（避難所担当職員、防災交通課）

※メディア（名古屋テレビ、中日新聞、読売新聞、尾北ホームニュース ほか）

成 果

ペット同室避難が可能な市民交流センターフロイデで、実際にペットを同行し、ペット同室避難所の開設から閉鎖までの流れを確認した。振り返りでは、訓練の感想や課題を参加者全員で共有した。

（主な意見）・マットが暖かった

・避難所のイメージがわいた

・間仕切りでの分けは安心した

・ペット避難に関する市民周知が必要

・動物種ごとの部屋分け（分け）が必要

